

案件化調査

ベトナム国における廃棄物最終処分場浸出水処理技術適用可能性調査

企業・サイト概要

- 提案企業：株式会社シャイニーボールホールディングス
- 提案企業所在地：沖縄県糸満市
- サイト：ベトナム国ホーチミン市フックヒップ廃棄物処分コンプレックス・C/P機関：同市天然資源環境局

ベトナム国の開発課題

- 経済成長の負の側面として年々増え続ける都市ごみ
- 産業・人口の増加・集中に比例して急激に増加する廃棄物に伴う水質汚濁
- 廃棄物埋立受容需要に合わせた最終処分場の増設
- 浸出水処理施設の改善・増設
- 大都市部の河川・運河・湖沼の水質汚濁や、洪水時の汚水氾濫による伝染病の蔓延

中小企業の技術・製品

- SBHが開発したシャイニー波動蘇水器、特殊凝集剤、Zタンク(高性能ろ過器)、および付帯装置を組み合わせた独自の排水処理システム
- 水分子集団を細分化(水の活性化)し、不純物を分離しやすい状態にする
- 生物学的な処理を行わないことで、滞留時間の短縮、設備設置面積の縮小、運転時の電力削減、運転管理の簡便化が可能

調査を通じて提案されているODA事業及び期待される効果

- 民間提案型普及・実証事業のプログラムにおいて実証プラント(処理能力100~200m³/日規模を想定)を設計・施工し、1~2年程度の運転を行い、処理水の水質モニタリング、水処理費用の検証等を行う。
- 大都市部の産業・人口の集中に伴う廃棄物の急激な増加と、それに伴う水質汚濁に対処できる。
- 設備保有自治体や水処理事業者に対して、より安価な水処理費用の提案が可能となる。

日本の中小企業のビジネス展開

- 浸出水処理実績を獲得し、ホーチミン市及び周辺の大・中規模自治体に展開
- 提案企業で設備を所有したBOO(建設・所有・運転)形式等での浸出水処理事業の展開

